

スローテンポ通信

第 63 号

2023年1月28日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎いま注目の本

○『羊たちの沈黙は、なぜ続くのか？

——私たちの社会と生活を破壊する
エリート民主主義と新自由主義』

ライナー・マウスフェルト著、長谷川圭、鄭基成訳、日曜社 2022年11月30日発行 3000円+税

☆☆☆☆☆

強い者が弱い者から収奪し、自分たちだけが肥え太るという世界システムの中で、大多数の弱者が従順な羊のように飼われられている。

教育とメディアによる洗脳システムを知ることにより、沈黙する羊たちは目を覚まし、自分の意見を言えるようになる。

◎ 参加するだけで、本を読みたくなる 本を読まない人の読書会

第4土曜日午後3時～5時

本の紹介後、自由に話し合います。
参加無料、予習不要、出入り自由、発言するしないも自由、とんでも発言歓迎！

2023年1月28日(土)

紹介する本は:

『ロシアのなかのソ連——さびしい大国、
人と暮らしと戦争と』 馬場朝子著

現代書館 2022年9月発行 1800円+税

メディアは、「プーチンは悪魔」「ならずものロシア」などの言葉でロシア攻撃を煽っている。今だからこそ、ロシアを知り偏見をなくす必要がある

誰にとっても平和がよいに決まっている。誰もが即刻停戦を願っているはずだ。

それなのに、戦争はなぜ起こり、なぜ終わらせることが難しいのか。ウクライナ戦争で具体的に考えてみよう。

話が通じない人の対処法-その1

話が通じないのは、通じない理由がどこかにある。よい例があるので、具体的に考えてみよう。

東京から小山までは新幹線が早いですが、1時間に1本程度しかない。時間帯によっては、在来線の方が早い。

私は、高齢の母の様子を見るために、度々大阪に行く。大阪からの帰り出来るだけ早く小山に着きたいときは、新大阪で早い列車にとび乗る。東京から先をどうするかは、列車内でスマホを使って調べる。

東海道新幹線から東北新幹線に乗り次ぐには専用乗換え口があって便利だが、東北新幹線特急券が必要である。乗る乗らないがわからないから、事前に買っておけない。

乗り換え口の係員に「特急券がないけれど、何とかならないの？」とたずねると、「一旦新幹線エリアから出て、東北新幹線窓口で購入してから入ってください」という。

言われた通りにしてきたが、大回りになる。人ごみをかき分け、混雑時は切符を買うのに並ぶこともある。

「東北新幹線なんか乗るもんか」と思うが、急いでいるときはやむをえない。この日は、スーツケースのキャスターが壊れていて、荷物を引きずって移動するのは大変だった。

以前に発車ぎりぎり「これに乗らなきゃいけないんです」と頼んだら、駅員が「降りた駅で清算してください」と言って、無礼乗車証明書を出してくれた。そこで言うてみた。

「無礼乗車証明書を出してもらえませんか。小山駅で清算しますから」とお願いすると、「そんなものは出せません。切符を買わずに乗ったら無賃乗車です」の一点張りである。

「なぜ出せないんだ」「出せないものは出せない」のやり取りがあって、係員のほうから「なんなら上のものに話してみますか」と言うてきた。

その言葉におどろいた。現場が、現場のことに責任を持たないと、自ら言うているのだ。

黙って付いていくと、何事かと係員が5～6人集まってきた。直接の上司が「これは一旦出て、特急券を買わ

なきゃだめですね」と言う。

すると年配の係員が、「自由席でいいんですか？」と確認し「付いてきてください」という。

なんと、新幹線エリアから出ることなく清算窓口で新幹線特急券が買えるのである。乗客への案内はないし、現場の担当者もその上司も知らない。「いつも困っていたことが見事に解決しました。現場の係員にきちんと周知するようにしてください。でないと、日本沈没です」と、その年配者に言うと、通じた様子だった。

時代の変化とともに係員たちは自分の頭で考えないようになった。会社の決まりだけにしがみつき、客の訴えを聞かなくなった。だから、大雪で列車が止まったとき、乗客を10時間も列車内に閉じ込めたままでも平気なのである。

以前は、客が困っていれば何とかできないかと調べたり、先輩に尋ねたりして、自分で考えるのが当たり前だった。その当たり前のことが出来なくなったから、清算窓口で特急券が買えることすら知らないのである。

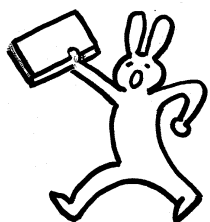
人の話を聞けない人にもいろいろあるが、このタイプを立場依存タイプと言う。役所や銀行などの職員、学者や教師などに多い。頑なに立場を主張し、人の話を頭から無視するから対処は難しい。

二十世紀になって民主主義の制度が完成したといわれるが、二十一世紀になっても社会は矛盾だらけで、むしろ生きづらくなった。格差は拡大し、力のある者だけが元気で、力のないものはますます無力になった。無力な人々は「助けてくれ」と訴えることもできず、諦めるようになってしまった。

そのようにしたのは、人々を従順な羊に飼育しようとする羊飼いたちである。羊にされた人々は、民主主義とは代理人による民主主義だと刷り込まれてきた。それが民主主義を変質させ、有権者を無力にした。

主張すべきときは直接主張する。それが直接参加型の民主主義である。

諦めることなく、筋道をたててきちんと主張していれば、必ず問題解決の道は開ける。N (つづく)



本好きも本嫌いも

本のよさを再発見する！

スローテンポ書店

小山駅西口 **ロブレ**地階

オープン: 火、木、土 13時～19時

日本を見つめ、世界を見つめ、自分を見つめる。
本があなたを待っています。

☆すろーてんぽ懇話会

ディベート型ではなく課題解決型で話し合います。困りごとを出してください。いっしょに考えます。どなたも歓迎！
経歴や過去を問いません。

第2土曜日 午後3時～5時、参加無料。

☆すろーてんぽ文章教室

文章は最も正確で直球の表現手法です。自分で書いたものを人に読んでもらい、意見を交わすことによって、考えが整理され心揺さぶる文章が出来上がります。作品集があります。

第2木曜日 午後3時～5時、参加費500円。